



第81号

あゆみ

NPO 法人ユーアイやちよ

276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1

TEL047-482-4109 FAX047-482-4179

E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

代表理事に就任して

網干 勝

今年度の定期総会後の理事会で、代表理事を拝命しました。ユーアイやちよの設立時から中心になって運営されてきた椎名さんに代わって、大役を引き継ぐことになり、その重責に身も心も引き締まる思いでいます。

ユーアイやちよは、ボランティア活動から開始し、介護保険制度の始まりとともに、介護保険・障害者支援の制度事業や制度外事業に取り組み、多くの実績を重ね、発展してきました。これはひとえに椎名さんはじめ、職員、ヘルパーおよびボランティア会員の活動と、それを支援していただいた賛助会員、利用会員のみなさまのおかげであると思います。

この度、新たに経営理念を掲げましたが、そこにあるように、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる街になるように、みんなで考え、力を合わせて進んでいけたらと思います。

また、介護業界は、他産業と比較して人材不足が常態化しています。働く一人ひとりが、それぞれの持ち味を生かすとともに、違う持ち味を持った人同士が相手の良さを認め協力し合って、相乗効果を発揮して活動することが大切なことだと思います。

私事ですが、これまでは、ヘルパー、サービス提供責任者、ケアマネージャーと経験してきましたが、総務・労務・財務等未経験の領域を担当することになります。不慣れなため、勉強しながら進んでいきますので、今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。 以上



『令和元年度 ユーアイやちよ総会開催される！！』

去る5月18日（土）午後八千代台北東自治会館で、特定非営利活動法人「ユーアイやちよ」の令和元年度総会が開催されました。運営会員総数69名中、27名の方々の出席と29名の方から委任状の提出があり、無事総会が開催されました。

総会では、第1号議案（2018年度事業報告、決算報告）及び第2号議案（役員改選）については、採決が行われ承認されました。また、2019年事業計画及び予算については、椎名代表から事業計画、予算に関する報告（網干さん）が行われ、無事総会が終了しました。

同じ場で「NPO法人ユーアイやちよの経営方針と活動方針」（下記参考）に関して、資料に基づく説明が行われ、改めてユーアイやちよの経営理念等について、総会に参加した全員で確認されました。なお、今回の役員改選により、総会後の理事会で互選の結果、網干 勝氏が新代表理事に就任しました。

【参考資料－「NPO法人ユーアイやちよの経営方針と活動方針」】

I 経営理念

当法人は、制度事業、制度外事業およびボランティア活動をとおして、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる街づくりに努めます。

II 活動方針

1. 利用者さんのその人らしさを大切にし、心温まるサービスを心がけます（その人らしさと心温まるサービス）
2. 日々、研鑽に努め、知識と技術を習得し、自立支援のスキルを高めます（技術取得）
3. 法令と基本ルールを遵守し、個人情報保護に努めます（法令遵守）
4. 地域で必要とされる活動を考え、行動するよう努めます（地域活動の推進）



令和元年ユーアイやちよ
総会風景

介護職の接遇・マナー研修に参加して！ (5/17)

サービス提供責任者 伊藤 浩子

介護現場での接遇・マナーの重要性、また、接遇とマナーの違いを学びました。

『接遇』 → おもてなしの心をもって相手に接すること

『マナー』 → 相手を不快にさせないための言葉遣いや立ち居振る舞い

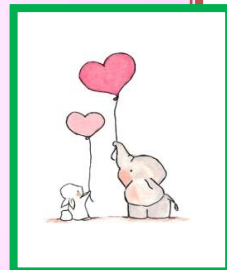
言葉の持つ意味をきちんと理解して、改めて自分を見つめ直し、ご利用者様との信頼関係をよりよく築くため、スキルアップしていきたいと思いました。

EPA ベトナム介護研修生実技試験のモデルとして！ (6/13)

伊藤 浩子

ユーアイやちよのボランティア会員 5 名と一緒に参加しました。ベトナムの研修生の片言(?)の日本語で一生懸命な実技テストの姿を間近で見られたこと、みなさんの誠実でまっすぐに取り組む姿を見て感動しました。

私もまだまだだと思いました。初心を忘れず、今までの経験を活かし、これからもがんばります。

**サービス提供責任者の業務習得のための研修 (6/9)**

サービス提供責任者 山下ゆりか

【研修内容】

- ・ 訪問介護における令和元年の法改正と確認事項
- ・ 実地指導に向けたサービス提供責任者の準備について
- ・ 訪問介護事業所の運営基準と設置が必要な事項

**【研修の感想】**

作成および設置が必要な書類の整備のため、早急に対応していかなければと思いました。また、介護保険請求に当たり、現場では、グレーゾーン・レッドゾーンに向き合うこともあり、職員みんなで正しい対応をすべく、共通の知識を徹底する必要を感じました。

「語らいパートナーの会(傾聴グループ)」が市民 1 パーセント支援事業に参加！

令和元年から「ユーアイやちよ」のボランティアグループである「語らいパートナーの会」(傾聴グループ)が、八千代市民 1% 支援事業に参加しました。

傾聴活動の充実のためには、財源の確保も必要ですので、皆様のご理解とご協力をお願いします。(投票をお願いします！ 投票用紙等は、公民館等で配布しています。〆切 7/23) 市民 1% 支援事業の詳細につきましては、八千代市広報 6 月 1 日号を参考にしてください。

－ミニ知識－ 【健康寿命と平均寿命】

現在の平均寿命は今、男性 80.2 歳 女性 86.6 歳

健康寿命は 男性 71.2 歳 女性 74.2 歳

健康寿命を出来るだけ長くすることが、人生の喜びにつながり良いことだが、「健康ではない」期間が確実にあることを否定的にとらえる人が増えることは、病気や障害のある人への差別や偏見を広げ、「自殺リスク」(生きる意味を否定)を増やす恐れがあることから、健康ではない期間の暮らしに対し、公的にサポートする必要がある。

小竹雅子 著 「総介護社会～介護保険から問い直す～」から抜粋

総会時研修会の報告



5月18日に開催されたユーアイやちよの総会に引き続き、定例研修会が取り組まれました。

研修会では、椎名代表から「皆さんで共有しよう！NPO法人ユーアイやちよの理念と活動方針」についてお話があった後、当日の参加者が4つのグループに分かれ、ユーアイやちよの活動方針に謳われている「①その人らしさと心温まるサービスのために」「②技術習得のために」「③法令順守のために」「④地域活動推進のために」をテーマとして、KJ法を用いての検討が行われました。

小一時間という短い時間でしたが、参加者の取り組みに対する意欲と熱意が強く感じられ、検討結果については、グループの代表者から発表されました。特に、高齢社会の進展が益々進む中で、地域における取り組みの重要性が明らかになり、今まで以上に高齢者の孤立化、不便さや不自由さ解消のため、地域住民として、よりきめ細かなサービス提供の必要性が確認されました。 小林



微笑みの輪

～ヘルパーのリレーメッセージ～ 高橋 美恵子 さん

- * ヘルパーの従事期間は？ → 14年（ユーアイやちよ3年半）
 - * 好きな言葉は？ → 『ケセラセラ』
 - * 仕事にあたって心掛けていることは？ → 『笑顔』と『ありがとう』
 - * 利用者様から教えて頂いたことは？
→ 「働くことも大事だけど、休むことも大事よ」
 - * 仕事以外の楽しいことは？
→ 『山の映像を見ること』、『歩くこと』、『食べること』
- 次回は 三浦 京子 さん



【令和元年賛助会員の皆様のご支援に心よりお礼を申し上げます。】

次の皆様方からご協力をいただきました。（前号に7名のお名前を記載）
グリーンヒル様、勝田台ケアセンターそよ風様、八千代台ケアセンターそよ風様、美香苑様
石上久美子様、石上直之様、伊東光江様、大澤公代様、塩塚トモ子様、清水和昌様、
植木昭子様、豊田たみ子様、蕨 恭子様、篠原智子様、山根聰子様、
NPO法人「虹と風福祉会」、清水安子様、降旗富貴子様、安藤 浩様、成瀬和江様、
伊東睦子様、大津桂子様、鈴木静江様、宮崎順子様、太田嘉代子様、オガール八千代様、
オーケーサービス様

引き続き皆様のご協力を宜しくお願い致します。お電話いただければお伺いいたします。

お振込下さる場合は、

☆ 振込先：千葉銀行新八千代支店（普通）3266357

☆ 口座名義人：特定非営利活動法人 ユーアイやちよ 代表 網干 勝



千葉県助け合い協議会総会及び講演に関する報告

山崎 タキヨ

去る 6 月 9 日に福祉センターにおいて、千葉県助け合い協議会の総会が開催されました。総会后、『「介護保険から問い直す」—市民活動に出来ることは何だろうか?』をテーマに小竹 雅子氏（市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰）の講演が行われました。その概要は下記の通りです。

- ・介護保険の導入前（措置制度）は、生活協同組合や任意団体などの「助け合い活動」「支え合い活動」が展開され無償・非営利有償など多種多様であったこと
- ・導入後は選択制度と言われたが、地域包括ケアシステムとして「自立支援・重度化防止」の推進が謳われ、もはや利用者の自己決定の機会が結果として失われたこと
- ・国は総合事業サービスの経費を減らすため、ボランティアや地域で支える取り組みを進めているが、ボランティアは自発的な活動であり、市区町村が「やってくれ！」と言うのはおかしいこと
- ・このような現状を鑑み、助け合い活動に取り組んでいるボランティアや NPO 法人等が、どう取り組んで行くかが問われていること



講演会の席では、「助け合いの今後の活動は？」という質問に対し、小竹講師からははっきりとした明言を頂くことは出来ませんでした。逆に小竹講師からは、「千葉県の各市町村の状況を聞きたい」と尋ねられたので、八千代市の状況をお伝えした次第です。また、総会に参加した協議会の方々と話し合いの中では、「自分達は何も変わらない」「変わりようがない」「自分達の目の前で困っている人がいたら出来ることをする、それしかない」「総合事業は、自分達の足かせになった」との意見が多かったと感じました。

八千代市では、総合事業移行後も大きな変化がなく安泰ですが、今後もしも役所から費用削減を提示される等の心配も考えられますが、先行きを心配しすぎても限りがありません。

結局、「自分達の出来ることをする以外はない」と言う私の持論を、改めて強く感じた次第です。

【行事報告】

- 5/15・22・29・6/12・29 同行援護従事者養成研修
- 5/16 「語らいパートナーの会」定例勉強会
- 5/17 介護職のための接遇マナー研修 介護労働安定センター
- 5/18 令和元年度通常総会
研修 「NPO 法人ユーアイやちよの理念」
- 6/9 「サービス提供責任者の業務取得のための研修」ホームヘルパー協会
千葉県助け合い協議会 総会と講演会
- 6/13 EPA ベトナム介護研修生実技試験モデルボランティア 6 名
- 6/18 八千代台西北地区第 2 層生活支援体制整備協議体



【今後の予定】

- 7/6（土）おれんじカフェ 3 周年記念イベント
- 7/18（木）・20（土）7 月定例会 研修「法令遵守・リスク管理」
- 7/18 「語らいパートナーの会」定例勉強会
- 7~8 月 ご利用者様 アンケート
- 9/18（水）20（土）9 月定例会 研修「認知症・接遇」
- 9/19（木）「語らいパートナーの会」定例勉強会

